



ケンテック株式会社
KENTEC Co.,Ltd.

スーパーフェローデッキ
SUPER FERRO DECK



登録番号

SuMPO-EPD-2512-29-1

検証合格日

2025/12/5

公開日

2025/12/15

検証有効期間

2030/12/4

EPDタイプ

グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

●基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建設用鉄鋼製品（中間財）
PCR登録番号	PA-180000-AJ-08_ja
PCR認定日	2025/4/1
レビューパネル委員長（所属）	松野 泰也（千葉大学）
PCR有効期限	2030/3/31
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	☐ 内部	☒ 外部	
検証実施者（所属）	☒ 検証員による 第三者検証	☐ 検証機関による 第三者検証	☐ EPDシステム認証 による第三者検証
	奥山 哲也（オフィス オクヤマ）		

> 準拠規格

準拠規格	☒ ISO14040:2006	☒ ISO14044:2006	☐ ISO14067:2018
	☒ ISO14025:2006	☒ ISO21930:2007	☐ ISO21930:2017
	☐ EN15804+A2	☐ EN50693:2019	☐ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の信息及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	ケンテック株式会社技術部
住所	東京都千代田区岩本町2-8-12 NKビル7階
問い合わせ先	03-3866-2106(代)
LCA算定実施者（所属）	ケンテック株式会社
事業者概要	建築用金属製品の製造、販売 建築・工事の設計、施工および監理 鉄鋼金属製品およびセメント第二次製品の製造、加工、販売

Environmental Product Declaration for **SUPER FERRO DECK**

●製品情報

製品名称		スーパーフェローデッキ		
製品の型式		SFD		
製品仕様	製品機能	建築用デッキの提供		
	製品質量	17.02	換算係数	－
	製品の用途	建築用デッキ		
	技術性能	BCJ評定－RC0522-03（日本建築センター）		
耐用年数	年数	約50年		
	使用条件	鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造の建築物用途		
	年数を設定した根拠	法定耐用年数表		
製造サイト（製造拠点）		市原加工センター		
製品概要		鉄筋付デッキプレート（型枠）として鉄筋トラス（鉄筋） が一体となっており、コンクリート打込み時はデッキ型枠として、硬化後は鉄筋トラスがスラブ主筋となり鉄筋コンクリートスラブとして耐力を負担する床構造デッキです。（日本建築センターBCJ評定：RC0522-03）		
製品ウェブサイト		https://kentec-web.co.jp/product/service1/		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
鉄筋・鉄線	75.7	12.9 kg
メッキ鋼板	24.3	4.1 kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量
バタ角	100.0	0.02 kg

※ グループ内のすべての製品において、鉄 1 0 0 % となります。

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	-	-
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	-	-

※ グループ内のすべての製品において、鉄 1 0 0 % となります。

Environmental Product Declaration for **SUPER FERRO DECK**

●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	☐ 単一製品	☒ グループ製品	☐ 業界製品
	サイトタイプ	☒ 特定サイト	☐ 複数サイト	
	開示方法	☐ 特定値	☒ 加重平均値	☐ 代表値 ☐ 上限値
地理的範囲		日本		
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明		2024年度出荷全サイズを加重平均しており、代表性を有しています		
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果の 上下幅に関する説明		グループ製品における計算式による個別LCI結果は、上下10%以内に収まっています		
複数製品EPDの説明		グループ製品であり、各サイズバリエーションの個別LCI結果は、EPD③LCA算定結果に関する説明に記載しました		

> LCA関連情報

機能単位		1 m ² あたり		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)		約17kg		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）		1 m ² あたり		
システム境界		☒ Cradle-to Gate	☐ Cradle-to-Gate with options	☐ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア		クラウド版MilCA ver.1.2.1.7		
LCIデータベース		AIST-IDEA Ver3.4		
特性化モデル		気候変動：IPCC第6次評価報告書(IPCC,2021年)、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ		日本鉄鋼連盟から提供された鉄スクラップ原単位のデータを使用しました		
二次データ品質		「GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044：2006（環境マネジメントーライフサイクルアセスメントー要求事項及び指針）の4.2.3.6 に従って行いました		
一次データ収集拠点		市原加工センター		
一次データ収集期間		2024年4月から2025年3月		
生物由来炭素の取り扱い		☒ 0/0アプローチ	☐ -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	使用有無	☒ 国や地域の平均的な電力ミックス	☐ その他	
	種類			
	購入日			
	発行元			

> 算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	■

■：算定対象 -：算定対象外

> アロケーション

アロケーションは重量を基準とする物理的基準です
生産電力は、対象外製品の電力消費推計量との差分から算定しました

> カットオフ

PCRの規定のあるカットオフ対象とする段階、プロセスおよびフロー以外で、独自にカットオフしたプロセスはありません

> システム境界

GPIおよびPCRで定められたシステム境界外プロセス以外をシステム境界外としていません
A1～A3の資材製造段階のみを算定対象としました
使用したPCRでは上記範囲のみが必須算定対象範囲であり、
A4以降は任意算定対象範囲である為です
時間的システム境界は100年です

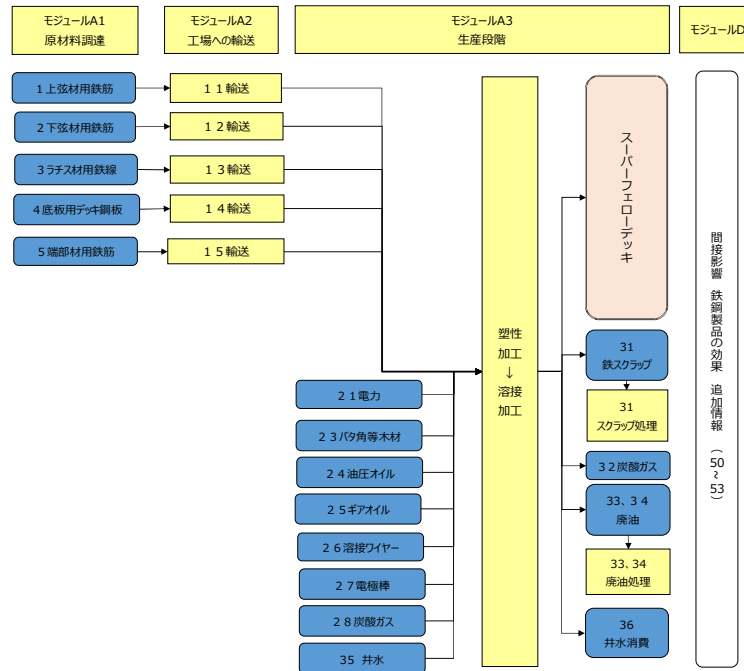
> シナリオ

モジュール	説明
A1	シナリオ利用はありません
A2	シナリオ利用はありません
A3	シナリオ利用はありません

> 電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2018年における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行いました

> ライフサイクルフロー図



[illegible][illegible][illegible]

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報－非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

[illegible]

＞廃棄物関連情報

[illegible]

> 出力フローに関する環境情報

[illegible]

> LCA算定結果に関する説明

製造サイトは、市原加工センターです。

活動量は、市原加工センターで生産する関連する全製品の製造データを適用し、アロケーションをした場合と同様のデータを適用して算定しています。

海外輸送モード距離は国間距離データとして利用しました。

使用した電力原単位は、「電力, 日本平均, 2018年度, JPN」で、1次データ取得年は2024年です。

間接影響におけるリサイクル効果算定に用いたリサイクル率は93.7%です。

上記出典：一般社団法人日本鉄鋼連盟LCIデータコレクション

各サイズを加重平均化した実績より算定した結果となります。

各仕様のLCI結果は、製品重量を変数とする以下の計算式で推計されます。

LCI結果 = 1㎡あたり製品重量 × (a)+(b)

影響領域	回帰係数 (a)	切片(b)
地球温暖化	6.58E-01	1.05E+01
オゾン層破壊	1.41E-07	-1.50E-07
富栄養化	7.14E-07	7.97E-06
酸性化	4.46E-04	2.33E-02
光化学オキシダント	5.30E-06	1.56E-04

・「再生可能資源」、「非再生可能資源」の算定結果は、クラウド版MiLCAの使用により、kg表記ではなく、MJ表記をしています。

・一般的な値（原単位）を利用しているため、当製品固有特有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご利用ください。

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

—

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法
銅	7440-50-8	労働安全衛生法
ニッケル	7440-02-0	労働安全衛生法
クロム	7440-47-3	労働安全衛生法
モリブデン	7439-98-7	労働安全衛生法

建材および建設製品からの危険物質の放出

—

●用語の定義

—

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO21930:2007 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services